

9月20日（金）

第38回みやこ秋まつり「手踊り復活祭」において、当学院が最優秀賞を受賞しました。20日、秋まつり実行委員会の方々が来院し、吉水也和実行委員長から賞状と副賞を授与されました。

みやこ秋まつりに参加し、学生で手踊りを披露することができ、良い思い出になりました。最優秀賞もいただくことができ嬉しかったです。

これからも、宮古高看の学生が地域の活性化のために、さまざまな行事に参加していけたら嬉しいです。

（学生の声・3年生）



教員と一緒に赤ちゃんのお世話をする小さな看護師さん。看護衣を着てお仕事体験です。

9月21日（土）

「こどものまち みやっこタウン 2024」（主催：NPO 法人みやっこベース）が旧宮古市立赤前小学校にて行われ、「みやっこ病院小児科」として子どもたちの看護体験のコーナーを本学院教員が担当しました。



学生からは、「今後の学生生活の過ごし方や進路選択の参考になった」との声が多くありました。

9月24日（火）

看護師、助産師、保健師として社会で活躍する卒業生を講師に迎えて、進路講話が行われました。

自身の仕事の内容やこれまでの経験だけでなく、挨拶や礼儀が大切であること、いろいろなことに興味を持ち視野を拡げることなど、普段の学びの中でも心掛けるべきことをアドバイスいただきました。

10月2日（水）

小児看護学実習（2年生）

放課後の2年教室。小学校での健康教育のリハーサルを行っています。プレゼンテーションの組立て方や資料の見せ方、年齢に応じた話し方など教員の指導を受けているところです。

何度も練習を重ねて本番に臨みます。

